令和6(2024)年度第1回両毛地域医療構想調整会議並びに第1回両毛地域病院及び有床診療所会議 議事録

1 日 時 令和6(2024)年6月27日(木) 19:00~20:00

2 会 場 安足健康福祉センター2階大会議室 (WEBとのハイブリッド開催)

3 出席者 調整会議委員12名、病診会議構成機関12機関、白石地域医療構想アドバイザー、事務局

4 議 事

議題1 令和6(2024)年度地域医療構想の進め方について 【資料1】

2025年を見据えた現行の地域医療構想から2040年を見据えた次期地域医療構想への展開について情報を共有するとともに、それらを踏まえた本県の今後の地域医療構想の進め方について説明した。

議題2 病床機能報告上の病床数と将来の病床数の必要量との差異について 【資料2】

新たな定量基準を基に算出した病床数と病床機能報告に基づく病床数を機能別に比較し、現状と将来に必要な病床数について検討した。

議題3 県内及び両毛医療圏の医療提供状況と医療需要について 【資料3-1, 3-2】

様々なデータを基に医療の提供状況について情報を共有し、両毛医療圏の医療需要に係る現状と課題を明確にした。

【事務局・安足健康福祉センター】配付資料に基づき議題1から3まで一括して説明。

《質問等 特になし》

議題4 推進区域の選定について 【資料4:非公表】

《非公開》

議題5 両毛地域医療機器の共同利用計画について 【資料5】

医療機器共同利用計画の提出があった2医療機関について確認を行った。

【事務局・安足健康福祉センター】配付資料に基づき説明。

《質問等 特になし》

5 その他(意見)

【栃木県医師会 白石常任理事(地域医療構想アドバイザー)】

- ・患者の流入を見ると、県南圏域や両毛圏域が多いが、それらの圏域は、県外からの流入も多い状況にある。
- ・回復期病床が不足しているため、それらの充足が今後の課題である。
- ・救急医療に関しては、足利赤十字病院、佐野厚生総合病院及び佐野市民病院の3医療機関に、救急搬送受入件数の約94%が集中していることが課題である。このため、今後の救急医療に係る体制整備について検討を進めていただきたい。